

「思い」を写す

STAND Still
性暴力サバイバー
ビジュアル ボイス
写真展

「いのち」 by 麻衣子©2024 STAND Still

2026年6月24日(水)～27日(土)

防府市地域交流センター

アスピラート 1F 市民ギャラリー

24日 13:00-17:00

25-26日 9:00-17:00

27日 9:00-15:00

入場無料

防府市戎町1-1-28



JR山陽本線「防府駅」北口(天神口)から東に徒歩1分

P JR防府駅周辺の有料駐車場をご利用ください。

STAND

WE BELIEVE

Still

Yamaguchi



STAND Still HP

主催：STAND Still 山口

協力：STAND Still ・ STAND Still 東京

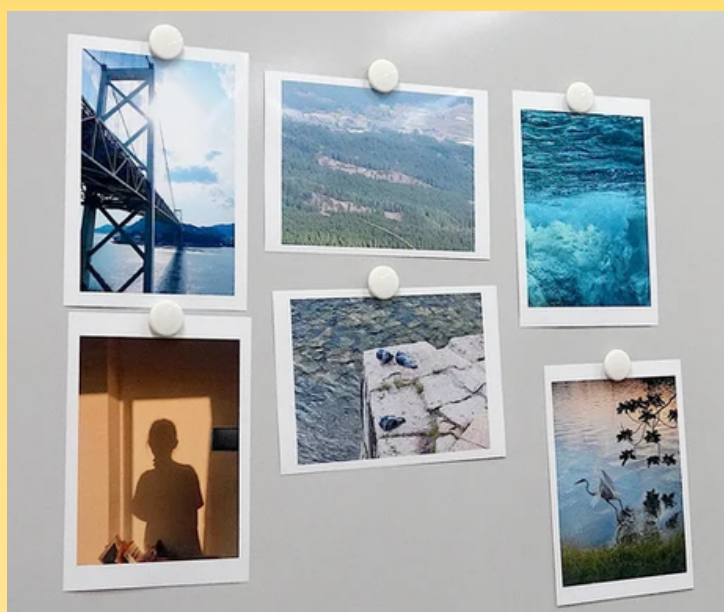
助成：

公益財団法人

山口きらめき財団

YAMAGUCHI KIRAMEKI FOUNDATION

性暴力を生き延びてきた人たちが「思い」を写すプロジェクト STAND Still 山口 - 性暴力サバイバー ビジュアル ボイス



団体 STAND Stillについて

2019年に大藪順子氏が始めたプロジェクト「STAND Stillー性暴力サバイバービジュアルボイス」の参加メンバーが立ち上げた団体。サバイバーが思いを安全安心に表現できる場を提供するため、各地でワークショップやイベントを企画・運営している。当事者の世界を内側から可視化する数々の作品は国内外で好評展示中。

あなたにしか
撮れない写真があるよ！



STAND Still 創始者・写真ワークショップ講師 大藪 順子（おおやぶ のぶこ）

フォトジャーナリスト。シカゴのコロンビア大学フォトジャーナリズム科卒業後、米国の新聞社で専属写真家として勤務。写真プロジェクト「STAND: 性暴力サバイバー達」がアメリカでテレビドキュメンタリーとなった後、全米と日本各地で展示会と講演会を展開。横浜、東京などで写真ワークショップ講師を務める。著書『STAND 立ち上がる選択』ほか。

🔊 プロジェクト参加者の声

「こういう活動は県内になかったので、とても嬉しい！」
「被害の話はしてもしなくても自由。だから安心して居心地いい」
「写真で気持ちを表現できてエンパワメントしてます」etc.

当事者・支援者の皆様へ

このプロジェクトは治療やカウンセリングではないことをご了解の上、サバイバーの表現活動の選択肢の一つとしてご検討頂けると幸いです。

STAND Still山口では今年度もワークショップを開催します！

お問い合わせは STAND Still 山口事務局 standstillyamaguchi@gmail.comまで

ーこの事業は山口きらめき財団の助成金を活用していますー